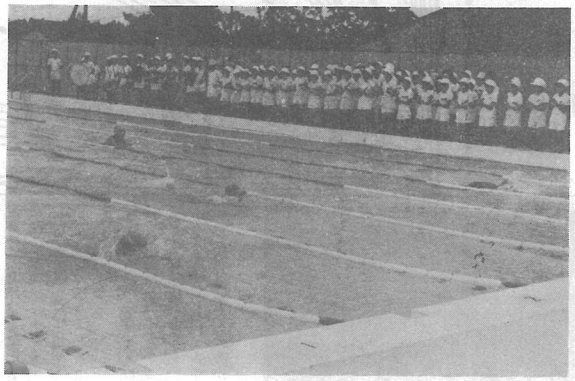
全校にプール完成

県下で初めて

四月三十日役場会議室で、式会社畔蒜工務店が五百八十万円で落札、さる七月二十四日完成、竣工式が八月一日関係者多数参列のもとに盛大に挙行されました。

なお、白浜小学校のプールが本年完成されましたので、光町全小中学校にプールが建設されたことになります。

白浜小　六年　吉田久美子



待望なった白浜水泳プール完成

まちにまった私たちのプールができあがり、今日はそのしゅん工式です。今までは、南条や日吉のお友だちは、プールで泳げていいなあとつくづく思っていました。

ところが、この白浜小学校にもプールができました。プールがあれば、海で泳がなくてもすみます。海で泳がないという規則を破る人は、いなくなるでしょう。水の事故もへって、おとうさん、おかあさんの心配も少なくなるでしょう。こんなりっぱなプールができたのも、町長さんはじめ議員の方々、PTAのみなさんのおかげだと思います。それから、畔蒜工務店のみなさんは、わたしたちのために朝早くから、夜もおそくなるまで、いっしょうけんめいにプール造りの仕事をしてくださいました。

わたしたちは、今、そのプールにはいれるかと思うと、うれしさがいっぱいで、胸がわくわくしています。プール工事のため、正門からでなくうらから出はいりすることになったときは、遠まわりで、いやだなあと思いましたが、これも工事に協力していることだと思って通学しました。

一日一日と、完成に近ずくにつれて、だんだん気持もおちつかなくなってきました。

いよいよ、八月五日から、プールで、泳ぐことができます。一週間に二回で、夏休み中には、八回はいれますので思いっきり泳ぎたいと思います。泳げる人は、もっとじょうずに、泳げない人は、少しでも泳げるように、努力することでしょう。

校舎は鉄きんの近代建築、この辺には見られないような立派なものを造っていただき、それに、プール、私たちは本当に幸せだと思います。私たちは、このすばらしい学校で、しっかりと勉強し、白浜小学校の名にはじない子どもになるつもりです。

町長さん、町の方々、PTAのみなさん、ほんとうにありがとうございました。

実のある宿泊研修

三区、入、生活改善クラブ

篠本三区生活改善クラブ（えの結作業がきっかけとなって、よつばクラブ　と入部落生活改善クラブ（ひかりクラブ）の合同研修会が、八月七日八日の両日、尾垂ひかり荘で開かれました。この研修会は八日市場農業改良普及所の指導により「明るい家庭つくり」をするために、家庭の主婦はどのような心構えが必要であるかを共に語り合い研究したものです。

両クラブはすでに数年前から、台所改善や衣類等の整理戸棚の設置、改良作業衣の着用など、私たちの身のまわりで簡単に工夫できる問題に常に積極的にとりくみ、地域ぐるみの生活改善を実践していたのですが、特に、〃田植かり」クラブ員のほか、白浜地区婦人会役員多数が加わり、主婦が生活改善にとりく意気ごみが読みとれる実のあるものでした。

お母さん達が自発的に問題をもちより、それを解決するために発生したグループ学習が、これほど理想的にしかも熱心に展開されている例はまれでしょう。

入部落を範として、更に一層グループ学習が展開されることを期待しています。

青年キャンプ終わる

五十名白樺湖畔に集う

今年の夏の移動青年学級は七月十五日から十九日まで四泊五日にわたり、総務課長も加わった五十名の参加者をもって長野県白樺湖キャンプ場において行なわれた。

・十五日

午後三時　町長の見送りをうけて元気に出発、新宿発二十三時四十五分の列車で長野県に向う。

・十六日

朝六時　上諏訪に着く。あいにく小雨まじりの天候である。

大きな荷物は車で宿まで運んでもらうことにし、バスで霧ケ峰高原に向う。

バスを降りてもまだ雨はやまず、日光キスゲの咲く車山はすべって歩きにくかったが暑さからくる疲れがなかったのでバンガローには、はやくつく。

・十七日

残念なことに朝からいやな雨である。

予定の蓼科山登山は中止となり、午前中は、ずっと自由時間、午後は、屋内の広場でゲームを楽しんだ。

・十八日

うあっ晴れた！

きょうはいいな！

などと　あちこちできこえる。

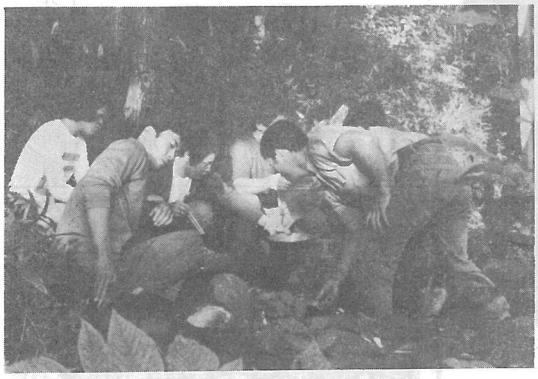
きょうは、予定の八子が峰をとりやめて、きのうできなかった蓼科山登山となる。七合目まではバスで行き、女子を先にして登る。途中らくごする者もなく十時半には、全員頂上に到達した。石だらけの頂上は、涼しさをとおりこして寒いくらいであった。

・十九日

茅野駅発十時五十分の列車で帰路につく。

車中は、今までの疲れが出たのだろう、ねむっている者が多かった。

午後八時半すぎ長谷川教育長の出迎えをうけて全員無事に帰着した。



キャンプを楽しむ青年学級

お年寄りに暖い手を

光楽園老人ホーム後援会活動始まる

町にただ一つの第一種社会福祉事業施設、光楽園養護老人ホームは一月二十日に入園受付以来いま六十一名の（定員七十四名）お年寄りが且ては恵まれなかった過去のふしあわせを忘れて、毎日を健全で安らかに過ごしております。

老人福祉法には「老人は、多年にわたり社会の進展に寄与してきた者」とあります。これは確かです。続いて老人福祉法は「……として敬愛され、かつ、健全で安らかな生活を保障……」とあります。はたしてそのとおりでしょうか、光楽園老人ホームに現在生活しておられるお年寄りは「健全で安らかな生活」をしております。しかしこの「安らかな生活」を長く続けて行くためには、一法人の力には限りがあります。

老人は（光楽園老人ホームにおられる六十一名の老人も含めて）「社会の進展に寄与した方々です。中には三郎会長の指揮の下に、いよいよ後援会活動を活発に進める体制にはいりました。

青柳会長は、老人福祉法に示された内容が、字に書いた理想でなく、真に老人が幸わせになり得るための実質活動として光町の全声が「光楽園養護老人ホーム」の後援を賛助されたい意向をもって後援会活動に乗りだす決意をいたしました。

町の皆さん方も、どうかこの趣旨をご理解下さって格別に、終生安らかに生活できるようにお世話するのは光楽園老人ホームのみがすべきではなく、ひとしく地域社会の共同責任として行うべきであります。その目的で「光楽園養護老人ホーム後援会」が有志によって設立され、ホームの諸施設を一層充実させ、運営を健全ならしめるため青柳要三郎会長の指揮の下に、いよいよ後援会活動を活発に進める体制にはいりました。

青柳会長は、老人福祉法に示された内容が、字に書いた理想でなく、真に老人が幸わせになり得るための実質活動として光町の全声が「光楽園養護老人ホーム」の後援を賛助されたい意向をもって後援会活動に乗りだす決意をいたしました。

町の皆さん方も、どうかこの趣旨をご理解下さって格別に、終生安らかに生活できるようにお世話するのは光楽園老人ホームのみがすべきではありがとうございました。

叙勲された戦没者

去る六月十四日第四十三回及び四十四回・四十五回の発令者二十九名の勲記並びに勲章の伝達式が御遺族各位御臨席のもとに役場会議室に於て行われました。祖国の平和と繁栄を念じつつ若くして尊き生命を祖国に捧げた御霊らの勲功を讃へありし日の英姿を思い浮かべここに衷心より英霊各位の御冥福をお祈りいたします。

ひかり荘を訪れた人たち

垂六区にたてられている町営ひかり荘は、夏になると町内は勿論、遠来のお客さん達でにぎわいます。

今年の町外からの主なお客さんは、自衛隊、埼玉県豊里村児童会の良い子たち、習志野高校の競技部などで、八月は予約をことわるのに骨を折ったほどの盛況でした。

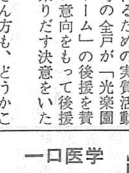
（豊里村児童育成会リーダー教室の良い子からの便り）

町長さん、お元気ですか。九十九里浜の景色のよいことと、海岸の広い松林や美しい国道など、光町の事は忘れません。ぼくたち、リーダー教室へ行った友だちは、真黒になって、とっても、元気です。そして、子供会のためになったと思います。だから、みんな部落に帰って、おそわったことや光町のことを友だちに報告しました。すると、みんな喜こんで聞いてくれました。おしえる方のぼくたちもうれしくなってしまいました。これから、もっともっと子供会をよくしていきたいと思います。色々おせわになって、どうもありがとうございました。それでは町長さまお元気で。さようなら

埼玉県大里郡豊里村　荻野　悟

一口医学

へんとう肥大



幼稚園や小学校の身体検査で「扁桃肥大」といわれるお子さんがかなり多いようです。扁桃（以前は扁桃腺といいました）は口の奥にあり、ものを食べても呼吸をしてもいちばんはじめに細菌がここにぶつかります。扁桃はここで細菌をうけとめて、それが奥へ侵入するのを防いだり、細菌を殺してしまう抗体をつくったりします。

したがってただ扁桃が大きいからといって手術でとめてしまうのは考えものです。肥大のていどや全身におよぼす影響によって手術をするかどうかきめてください。

非常に大きくて扁桃炎を年に何回もおこしたり、耳などに障害をおよぼしたり、急性ジン炎、リューマチ熱の原因と考えられるときなどは手術を受けたほうがよいといわれます。

勲五等　陸軍大尉　斉藤三代治
勲七等　陸軍伍長　関川　明
海軍上等兵曹　斉藤　正
海軍一等飛行兵曹　土屋勇
陸軍整備兵曹長　越川守
陸軍准尉　向後恒春
陸軍伍長　伊藤　政利
勲八等　陸軍上等兵　森　政雄
海軍上等水兵　森　昇
陸軍兵長　土屋　輝夫
陸軍伍長　久保田照教
陸軍上等水兵　布施吉雄
陸軍伍長　大関和夫
陸軍伍長　山崎利雄
海軍属　鈴木　義雄
海軍主計上等兵曹　土屋　裕
陸軍二等兵　藤代　五郎
陸軍上等兵　藤代　清作
陸軍兵長　大木　美澄
海軍上等水兵　渡辺正
海軍上等水兵　椎名　惇
海軍水兵長　竹内正
海軍上等水兵　仔橋　彦
陸軍伍長　川野茂之一
陸軍兵長　越川勝雄
陸軍上等兵　杉山正一
陸軍上等水兵　平山叔忍
海軍上等兵　博之
海軍二等整備兵曹　大木重治